令和7年度 稲沢市地域自立支援協議会 第1回就労支援部会 議事要旨

【日 時】令和7年5月20日（火）午後2時～午後3時35分

【場 所】稲沢市役所 東庁舎 1階 会議室8

【出席者】就労支援部会委員5名 事務局4名

【欠席者】1名

【議 事】

あいさつ（新委員2名、部会長）

1 報告事項

（1）障害者の雇用状況等について（委員Aから説明）

部会長 ハローワークからの就職が少ないのは、他の媒体が増えているということか。

委員A そのとおり。民間の紹介媒体による求人が増えており、若年層の利用者が増えている。企業としても、お金を払ってでもマッチング率の高い媒体を使っていく動きが考えられる。ハローワークは紹介成功率が低い傾向にあるので、課題として考えたい。

委員B 障害者雇用をするにあたり、助成金が要らないという企業も増えているのか。

委員A 助成金に魅力をもっといただけていないと感じる。いい人材であればという考え方は、障害者に対しても同じで、企業が求める人材と求職者の能力をマッチングすることはなかなか難しい現状だ。企業側に、障害者の能力や特性を理解していただくことも引き続き必要だ。企業訪問の数を増やし、企業の生の声を聞き、動画や画像を撮影するなど、民間の紹介媒体の情報に見劣りしないよう動いている。

（2）障害福祉サービス事業等について（事務局から説明）

委員B 稲沢市と一宮市で連携していきたい。「今、地域で準備したいこと」として、「多機関連携によるケース会議はどう進めていくか」、「架空の事例で勉強会」とあるが、イメージしながらワークをやっていくことが必要だと思う。8/19にすろーぶ主催で就労選択支援事業の会議をさせていただき、モデル事業をした地域のかたに発表していただき、グループワークを企画している。

部会長 これは急務であるが、サポートなしでは成功しないと思う。

2 協議事項

（1）障害者の雇用環境の充実（事務局、すろーぶから説明）

（障害者雇用の普及促進と、雇用企業と福祉事業所の連携強化）

1）新規事業について

事務局 市広報への掲載は不可だが、市のSNSでの周知は可能ではないかと思われる。

部会長 なんとか成功させたい。企業の名前が入ると、企画として厚みも出る。企業が積極

的に参加していることを全面に訴えることができれば、もっと熱い障害者雇用フォーラム（以下、「フォーラム」という。）になると思う。

委員 B 稲沢市の企業にも参加していただきたい。様々な機関が関わっているところがいい。一宮市からも候補を出していただく予定としている。

事務局 福祉事業所から稲沢市内の企業に就労され、頑張っていらっしゃるかたの情報などを確認したほうがいいか。

委員 B だいたい把握できている。卒業生が働いているところを、出身の事業所のかたがたに見ていただきたい。

事務局 学校から行かれたかたでもいいのか。

委員 B 問題ない。

事務局 分科会の部屋はどれくらいのスペースか。

委員 B 福祉サービス事業所説明会（以下、「事業所説明会」という。）は、この会議室と同じくらい。企業懇談会はこの会議室 8 より少し小さい視聴覚室で行う。当事者交流会は、もう少し小さい部屋が 2 つで、精神発達と知的で分けようと考えている。企業懇談会の部屋は中ホールを出てすぐだが、事業所説明会と当事者交流会の部屋は別の階になる。保護者には事業所説明会、当事者には当事者交流会に行っていただけ。企業のかたにも事業所説明会に来ていただきたいが、また別の機会に誘導するかたちを考えている。

事務局 事業所説明会に参加する事業所は、全部は出られないのか。物販と分けるのか。

委員 B 分けることになる。物販は 12 事業所が出られると思う。物販の出店料を取ると、すろ一ぶで現金を扱うのは難しい。物販については、教えていただけるとありがたい。

事務局 事務局でお金を取扱うことはない。市内のまつりで出店料がかかるものもあるが、中心になる事業所が取りまとめをしている。

部会長 就労支援部会が取りまとめ、経費にあてることも可能ではないか。

事務局 事業所のなかで取りまとめる人を決めてやることはできると思う。

委員 B 出店料は取らずにやってもいいのではないか。販売時間も短く、割に合わないという意見もある。また、モデレーターは妥協せず、適当な人をお願いしたい。舞台照明について本番はどうなるのか。

部会長 先に打合わせが必要だ。

事務局 舞台関係は、会場側にやっていただけると思われる。舞台装置に関して、デリケートな部分も多く、触らないでと言われるものもあるため、専門職がやってくれるのではないか。

委員 B 物販は各事業所の責任で行っていただきたい。すろ一ぶは 6 人のスタッフを各箇所配置するが、出来ないことも出てくる。仕切っていただけるとありがたい。

部会長 それはやれる。

- 委員B 他に気になるところがあれば教えていただきたい。
- 部会長 周知をどうするか。ある程度、参加者を呼ぶには企業に協力を仰がないといけない。
- 事務局 様々な企業に協賛をお願いするのか。
- 部会長 企業へ依頼し、名前をいただくことはできると思うが、人を呼ぶことは別に動かなければいけない。事業として、2年、3年はやっていかないと形にならないので、今年は半ば強制的でも来ていただきたいとお願いすることは必要ではないかと思う。
- 委員B 一宮の学校からは、生徒へ参加を強制することは難しいと聞いている。一宮特別支援学校は、保護者や該当者へチラシを渡すことは可能と伝えられている。稲沢市はどうか。
- 委員C どういったかたをターゲットにするのか。企業への就労だけでなく、就労継続支援A型、B型事業所や就労移行を目指している人も対象であれば範囲は広がる。
- 委員B 10月から就労選択支援が始まるため、その前振りとして、この取組みは良いと思っている。物販に参加していただければ、B型事業所で活躍している様子も見えていただける。
- 委員C 9月に、高等部で実習の説明会があるので、保護者のかたに話をすることはできる。受付にチラシを置いていいかどうかの確認をする。
- 部会長 市内に福祉系の学校はないか。学生を呼ぶことができれば良い。
- 事務局 福祉・医療サービス系の科がある学校はあるが、平日高校生に参加してもらうことは難しいと思われる。
- 委員C 来月、障害者雇用の説明をお願いされ、高校の先生がたにお会いする機会がある。資料にあるフォーラムのチラシは案内していいのか。
- 委員B 高校の先生がたにも来ていただきたい。チラシは仮のものではあるが、配布は構わない。
- 部会長 周知の方法については、アイデアがあれば教えてほしい。
- 委員B 物販にどの事業所が出るか検討していただきたい。販売品が同じものばかりにならないよう調整する必要もある。
- 部会長 どう発信するのか。
- 事務局 いつもメールで発信している。事業所説明会は物販をやっていないところに出ていただいたほうがいいか。説明会に何事業所くらい出られるのか、詰めてから案内したいので、また相談することとしたい。

2) 昨年度行った活動について

- 部会長 福祉まつりには、TIY(株)に協力いただいているが、それは大丈夫か。(はい)
見学会は池戸製作所にも毎年協力いただいているが、フォーラムもあり、負担にならないくらいいいなと気になっているところである。

事務局 実施するなら、フォーラムの後だと思う。

部会長 池戸製作所に、フォーラムへ来てもらい発表などしてもらうことは可能か。

委員D 可能だと思う。

部会長 せっかくの機会なので、企業のPRにもなると思う。

委員B シンポジウムでお話いただいた企業に、分科会でも引き続きお話いただくのか、話を詰めていない。企業同士がざっくばらんに話す機会にしてもらってもいい。半田市の場合は、雇用指導官と登壇者の就労先の方が出られて質問を受けていた。

事務局 まずフォーラムで企業同士が繋がり、次に見学に繋げていただく流れでいいか。

部会長 一番いいのではないか。

委員B 企業の見学は、関係機関より企業のかたに来ていただきたい。昨年度の参加人数84名は関係者や福祉事業所も含むので、純粹に、未達成の企業に来ていただきたい。

委員A 精神や知的のかたを受け入れたことがない企業が多いので、実際に働いている現場を見ていただくのは意義のあることだと思う。

委員B フォーラムで何を話題として出していくか、現在、検討中。納付金の問題や今後変わっていくこと、例えば、法定雇用率があがるなど、新しい観点から企業のかたに伝えることがあれば、ぜひやっていきたい。

部会長 池戸製作所には、参加いただけるよう、検討いただきたいと思う。

委員B いなぎわ特別支援学校（以下、「特別支援学校」という。）の見学会はまた別だ。昨年度も企業が来られていた。

委員C 就労支援部会としての見学会としていただけるとありがたい。

事務局 福祉事業所の見学会と合わせてはどうか。

委員B 企業見学会が抜けて、特別支援学校見学会と事業所見学会を一緒にするか。

部会長 それでもいい。

事務局 福祉事業所は日にちを決めなくとも、いつでも行うことは可能。

部会長 特別支援学校の見学会は、実施する方向とする。

事務局 福祉まつりでの啓発について、他の企業の仕事紹介もできると良い。仕事紹介のツールなどがあれば、場所をとらずに、様々な企業の仕事を紹介できる。

部会長 VRについて調べてみたが、コストがかかる。レンタルもあり、取り組みとしては面白いと思う。企業の現場を動画撮影し、それを自分に置き換えて観るイメージ。

委員B それは誰が撮影するのか。提案したら、やりたいと名乗り出る企業はあると思う。

事務局 まつりには子どもも来るため、そういったものは楽しいと思う。

委員B 以前、別の職員が福祉のイベントで、VRで認知症のかたの体験をして大変印象に残ったと言っていた。

事務局 発達障害の子の見えかたをVRで体験できるものもある。

部会長 もう少し調べてみたい。探せばもう少しあると思う。

委員B 福祉まつりの目的はなにか。

事務局 共生社会だ。

部会長 マンネリ化するよりは、新しい取組みをしたほうが良いと思う。
アイデアがあればまた教えていただきたい。

事務局 特別支援学校の PTA 主催の事業所相談会の日程が 10 月 15 日（水）10 時から 12 時に決まった。

3 その他（事務局から説明）

中小企業家同友会稲沢地区 5 月例会に、正副部会長、委員 C、事務局が参加予定。